

洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所

2021年度活動報告書

1 現代邦楽研究所の概要

■沿革

新しい邦楽専門の教育研究機関として1995年東京目白に開設し”現代邦楽研究所”第1期が始まる。三味線演奏家 西潟昭子を代表として 運営を開始。演奏、創作、教育、研究プロデュースなど様々な分野において日本の 伝統音楽文化に貢献できる人材を育成輩出すべく様々な講座を設定し広く教育活動 を行う。また、演奏会やワークショップ活動、コンクール事業、新作委嘱、CDや書籍出版など音楽文化への貢献活動も行う。2005年第11期4月より洗足学園音楽大学内に組織に移管し、大学附属研究所として”洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所”となる。2015年度より森重行敏が所長に就任。

2 研究体制

■2021年度 組織図

所長：森重行敏(客員教授) 顧問：松尾祐孝(教授) 主任：山口賢治(講師)
 研究員：石高万紀子(講師) / 市川香里(講師) / 富田慎平(講師)
 野澤佐保子(講師) / 野澤徹也(講師) / 長谷川慎(講師) / 山中信人(講師)
 吉原佐知子(講師)
 研究助手：産形典子(卒業生) / 稲垣美沙(修了生) / 大友美由奈(修了生)
 谷富愛美(修了生) / 西琴美(卒業生) / 平原愛香(卒業生)
 稲沢茉莉(卒業生)

■活動年表

1995年5月~2021年3月は現代邦楽研究所 2020年度活動報告書を参照。

2021年

- 4月 現代邦楽研究所27期総合コース講座開講
第4回現代三曲アンサンブル演奏会に後援および制作協力
- 5月 現代邦楽研究所27期ワンテーマ講座開講
箏曲組歌会 主催 第19回箏曲組歌演奏会動画配信に後援および制作協力
川崎ものづくりフェアin等々カイベントに制作協力
- 6月 第22回 一穂会地唄箏曲演奏会に制作協力
- 7月 洗足学園音楽大学 邦楽演奏会「和のいろは」に後援および制作協力
- 12月 洗足学園音楽大学 冬の邦楽演奏会に後援および制作協力
文化庁ARTS for the future!支援事業「怪猫狂騒曲」映画祭に制作協力

2022年

- 1月 ショッピングモールグランツリー武蔵小杉にて新春邦楽演奏イベントに協力
東久留米市立第一小学校にて邦楽観賞会を実施
- 2月 洗足学園音楽大学邦楽第12回定期演奏会に後援および制作協力
- 3月 日本現代音楽協会 主催「野澤徹也三味線リサイタル」に制作協力

■第27期（2021年度）講師 ※【専門分野】五十音順

青木鈴慕【尺八】

1965年生まれ。琴古流尺八を父二代青木鈴慕（人間国宝）に師事。92年文化庁芸術インターンシップ生。95年第1回リサイタルを開催、以降7回開催。01年第1回曠の会演奏会開催。以降毎年開催。06年東京藝術大学非常勤講師を2年間勤める。08年鈴慕会百周年記念演奏会を国立小劇場で開催。10年 東京藝術大学非常勤講師を2年間勤める。14年第5回「創造する伝統賞」受賞（日本文化芸術財団）。琴古流尺八協会副会長、（公社）日本三曲協会常任理事、東京藝術大学非常勤講師、洗足学園音楽大学講師、琴古流尺八鈴慕会副会長、現代邦楽作曲家連盟理事、曠の会同人。

芦垣美穂【三味線組歌】

1980年東京藝術大学音楽学部講師拝命。2015年第20回芦垣美穂箏三絃リサイタル。2017年 開軒50周年記念一穂会地唄箏曲演奏会を国立劇場(小劇場)に於いて開催。NHK邦楽百番、邦楽のひととき等放送レコード録音多数。「古典教材ライブラリー」を人間国宝 山本邦山氏、吉崎克彦氏と共に収録発売中。ソロアルバム「今に生きる古典の世界」I~VIII発売中。「芦垣美穂演奏集~宮城道雄を謳う~」全6集 発売中(芸術祭参加作品)。宮城社大師範、森の会会員、日本三曲協会会員、生田流協会会員、初心の会同人、一穂会主宰、名古屋音楽大学客員教授。

石川憲弘【二十絃箏】

箏演奏家・作曲家・指揮者。箏を吉田興三郎、二十絃箏を野坂恵子、三絃を野坂操寿に師事。NHK邦楽技能者育成会第26期修了。文化庁芸術家国内研修生として作曲を牧野由多可に師事。指揮を稲田康に師事。1988年から1994年まで、NHK邦楽技能者育成会講師。数多くの海外公演、CD録音など、幅広く活躍中。邦楽アンサンブル「昴」代表、やまなし邦楽合奏団「響鳴」指揮指導。

石垣清美【箏】

5歳より生田流箏曲を学び、後に沢井忠夫に師事。'77年初代石垣征山と第1回箏・尺八ジョイント・リサイタルを開催以来、国内外各地で回を重ねる。'85年から熊谷守一美術館にて年4回9年間ジョイント・コンサートを開催。平成元年度「石垣清美 箏独奏会」の成果により、平成3年度「石垣征山・石垣清美 ジョイント・リサイタルvol.5」の成果により、文化庁芸術祭賞を受賞。コロムビアよりCD「石垣清美 箏・十七絃の世界」「沢井忠夫デュオ作品集」「石垣清美・沢井忠夫をうたう」他発売。国際交流基金の派遣などによりアメリカ、東南アジア、アルゼンチン、スペイン、中東、他を訪問。沢井箏 曲院教授。邦楽音心会主宰。NHK邦楽技能者育成会、京都女子大学卒業。洗足学園音楽大学名誉教授。

上原潤之助【三味線】

民謡・端唄・長唄・津軽・義太夫・沖縄・現代曲 他、細分化された三味線界において、太棹・中棹・細棹・三線など、あらゆる三味線を自在に操るマルチ三味線プレーヤー。現在は、ライフワークとする「子どものための和楽器コンサート」、街の三味線教室「福之会」ほか、TV・ラジオ出演、スタジオワーク、書籍執筆など、また純邦楽界にとどまらず、現代音楽・ポップス・歌謡曲・ジャズ・クラシックまで、幅広い分野で演奏活動を展開している。これまでに、オーケストラや様々な民族楽器とも共演。音楽企画・制作 Studio J's Sounds 代表。街の三味線教室「福之会」主催。洗足学園音楽大学講師。

鵜澤光【謡曲】

観世流シテ方能楽師。1979年生まれ。シテ方観世流能楽師。鍬仙会所属。1982年に仕舞「老松」で初舞台。1992年に能「猩々」で初シテ。2002年東京藝術大学邦楽科能楽専攻卒業。幼少より祖父 故鵜澤雅、母 鵜澤久に師事。大学卒業と同時に鍬仙会に入門し、九世観世鍬之丞に師事。5年間の内弟子生活を経て2007年準職分認定、2008年元旦、独立。以後「石橋」「乱」「道成寺」他多くの舞台を務める。演能団体鍬仙会を中心に活動し、アメリカ、ノルウェー、ポーランド、ブラジル、オーストラリア等々の海外公演にも多数参加。一般、学校での講演、ワークショップなども積極的に手掛けるほか、趣味として能楽を学ぶ一般への稽古も行っている。また2015年11月中国南京にて催された「朱鷺芸術祭」に於いて現代演劇に出演し中国の伝統演劇である昆劇の役者と共演。活動の幅を広げつつある。洗足学園音楽大学講師。同大学音楽教育コースにて能楽を指導する。教育芸術社刊行の音楽教科書（中学生下巻）能楽実技指導DVDにも出演。

河野正明【詩吟】

18歳より都山流尺八の手ほどきを受け、後に作曲者の船川利夫に師事し現代邦楽の研究をする。ロシア、中国、アメリカでの公演を経験。

吟詠音楽に関する活動が顕著で、現在NHKのテレビやFMなどでレギュラー奏者として活躍中。吟詠に関する音楽の作・編曲なども手がけている。

清元栄吉【清元】

1963年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業後、清元栄三郎師に入門。平成元年、七世宗家より清元栄吉の名を許され以後清元節三味線方として歌舞伎、日本舞踊公演等に出演。幅広い分野で創作も多く手がける。第17回財団法人清栄会奨励賞、第33回松尾芸能賞邦楽新人賞、第16回日本伝統文化振興財団賞。創邦21同人、清元宗家高輪会理事、東京藝術大学非常勤講師。

熊田かほり【琵琶】

2003年、早稲田大学入学、琵琶を初めて手にする。同年8月から鶴田流琵琶・田中之雄氏に師事。2005年JASRAC主催の「日本の音フェスティバル」参加、2006年江ノ島琵琶講にて奉納演奏を行う。古典演奏の他、歌ものでも独自の世界を創造し注目されている。

る。2006年3月には鹿児島テレビで放送された「世界に翔る！薩摩スピリッツ！！」に取り上げられた。

坂田梁山【尺八】

香川県生まれ。神戸大学在学中より岸原周山・川村泰山に師事。NHK邦楽技能者育成会第30期を卒業し、第13回都山流本曲コンクール金賞・文部大臣賞受賞他、各種コンクールで受賞。鬼太鼓座公演、劇団四季ミュージカルミュージカル、片岡鶴太郎、主演ミュージカル参加に加え、小椋佳、南こうせつ等のコンサートにも参加等、様々なミュージシャンと共演し、海外公演も数多く行う。CD録音、テレビ（題名のない音楽会他）、ラジオ（邦楽ジョッキー他）には多数出演。尺八を中心としたバンド「ニュートラル」を率いてCD制作をする等、古典から現代音楽に至るまで幅広く活動を行う。都山流尺八大師範。桐朋学園芸術短期大学日本音楽尺八科非常勤講師。

佐藤昌弘【作曲】

東京藝術大学音楽学部作曲科を首席卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第12回および第20回日本交響楽振興財団作曲賞入選、第61回日本音楽コンクール作曲部門第3位受賞（1位なし）、第1回芥川作曲賞ファイナリスト。現在、洗足学園音楽大学教授、同大学音楽教育コースアカデミック・プロデューサー。日本現代音楽協会事務局長。

神令【尺八】

1980年東京生まれ。尺八古典本曲の集大成者「神如道」を祖父とし、神如正、青木鈴慕、川瀬順輔、山本邦山、徳丸十盟の各氏に師事。現代邦楽研究所本科修了。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院音楽研究科(尺八専攻)修士課程修了。2007～2009年、2015年～2020年、同大学邦楽科教育研究助手を務める。NHK学園国立オープンスクール講師、早稲田大学竹友会師範、キッズ伝統芸能体験尺八コース講師、琴古流協会理事、日本三曲協会企画委員。2009年デュオCDアルバム「アマルガム～尺八とピアノ～」を発売。2012年ソロCDアルバム「尺八古典本曲 神令」を発売。

末廣正栄【声明】

大正大学仏教学部卒。天台声明を海老原廣伸師に師事。母校・大正大学の講師として学生に法儀音用を指導しながら、「天台声明 七聲會(しちせいかい)」会員として古典声明の伝承のみならず、声明と現代音楽の融合作品についても積極的な協力活動を行い、青山スパイラルでの「千年の聲」定期公演、天台宗総本山比叡山延暦寺法儀音律研究部としての国立劇場法要出仕をはじめ、国内外での公演や音大での講演など、各種の活動を展開している。台東区谷中・金嶺寺住職。

鶴澤三寿々【義太夫】

平成3年 社団法人義太夫協会主催義太夫教室第43期修了 同年竹本駒之助に入門。平成6年 国立演芸場「七福神宝入船」で初舞台 鶴澤三寿々となる。以降主に「女流義太夫演奏会」に出演するほか、「じょぎ」「ぎだゆう座」（上野広小路亭）などの若手勉強会

に継続的に出演。また、NHK「芸能檜舞台」「邦楽のひととき」や、「題名のない音楽会」、新作演奏会等に出演。平成13年より「素浄瑠璃の会」を主宰。平成18年 国立劇場主催「明日をになう新進の邦楽・舞踊演奏会」に出演。平成11年度 芸術家団体協議会（芸団協）助成義太夫協会新人奨励賞受賞。平成13年度 文化庁芸術インターンシップ研修員。平成18年度 財団法人清栄会奨励賞（伝承者部門）受賞。インターネットラジオmookmookradio「義太夫三味線の鶴澤三寿々と能管の滝沢成実の和楽器ボン・ボヤージュ」パーソナリティー。社団法人義太夫協会正会員。

高橋久美子【作曲】

クラシックはもとより邦楽、演劇、ミュージカル、映像音楽等ジャンルを超えた作曲活動を国内外で行っている。また邦楽曲においては、必ずその楽器を購入し習得してから創るというスタイルをとっている。これまでに箏、三味線、尺八、琵琶、箏、笙、能管、大・小鼓、そして謡等を学ぶ。作曲を田辺恒弥氏に師事。作曲家グループ＜邦楽2010＞代表、日本音楽集団団員。平成30年度（第73回）文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞（Crossroads vol.3作曲家 高橋久美子×尺八考「解体新譜」）。

高原聡子【雅楽】

東京芸術大学音楽部楽理科卒業。同大学院修了。笙演奏および雅楽合奏、左舞を多忠麿、芝祐靖、多忠輝、東儀雅季、宮田まゆみの各氏に師事。国立劇場雅楽公演、東京の夏音楽祭、米国タングルウッド音楽祭、ACLマニラ大会などに出演。古典雅楽のみならず、新作、他ジャンルとのコラボレーションにも積極的に取り組む。

田中奈央一【箏】

6歳より山田流箏曲の手ほどきを河内百合能師に受ける。東京藝術大学卒業後、六世中能島弘子師の直門となり、奈央一の芸号を許される。同大学院修士課程修了。文化庁新進芸術家国内研修員修了。NHK邦楽技能者育成会 第50期首席卒業。NHKテレビ「芸能花舞台」「芸能百花繚乱」「にっぽんの芸能」や歌舞伎公演等に出演の他、江戸小唄を勇希波つ帆、ボイストレーニングを堀江真知子の各師に師事し、古典邦楽に加え現代作品の初演やバロック楽器との共演、平家琵琶の研究等にも取り組んでいる。NHK文化センター柏教室講師。都立三田高校・王子総合高校和楽器講師。和楽団 煌・アンサンブル室町メンバー。

常磐津紫緒【常磐津】

平成3年3月東京藝術大学 音楽学部 楽理科 卒業、平成6年3月東京藝術大学大学院 音楽研究科 修士課程（音楽学専攻）修了、平成11年3月東京藝術大学大学院 音楽研究科 後期博士課程（音楽学専攻）単位取得満期退学。その後、東京藝術大学音楽学部楽理科および音楽環境創造科非常勤助手、玉川大学、昭和音楽大学および同大学短期大学部、聖心女子大学等の非常勤講師を経て、平成21年4月から平成28年3月まで有明教育芸術短期大学芸術教養学科専任教員。東京藝術大学大学院、宇都宮大学非常勤講師を経て、平成28年10

月より独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 無形文化遺産部 無形文化財研究室主任研究員、平成29年10月より同無形文化財研究室長となり現在に至る。

富田慎平 【邦楽打楽器】

洗足学園音楽大学音楽学部音楽科打楽器コース卒業。在学中に洗足学園音楽大学主催第9回～11回「室内楽コンサート～オーディション合格者による～」披露演奏会、成績優秀者による卒業演奏会、現代音楽協会主催「現代の音楽展」、ドイツ「オストフリーストランド音楽祭」、サントリーホール主催「レインボー21デビューコンサート」などに出演。NHK-FM「日本の民謡」「民謡を訪ねて」NHK-Eテレ「民謡魂」NHK-world「Blends」、テレビ東京「年忘れにっぽんの歌」「おはスタ645」、フジテレビ「武器はテレビSMA P×FNS 27時間テレビ」、読売テレビドラマ「猿ロック」、日本テレビ放送「Dr.倫太郎」、日本フィルハーモニー交響楽団第642回定期演奏会などに出演。洗足学園音楽大学講師、日本音楽集団団員。

鳥居名美野 【箏曲組歌】

山田流箏曲協会会長。社団法人日本三曲協会常任理事。箏曲組歌会代表。洗足学園音楽大学客員教授。松尾芸能賞優秀賞受賞(2005年)。ライフワークとして40年以上に渡り、箏曲組歌の研究を続けており、楽譜を出版。(財)日本伝統文化振興財団より組歌のCDを作成、組歌の普及に努めている。平成14年度文化庁長官表彰、2005年松尾芸能賞優秀賞受賞。

名嘉ヨシ子 【琉球箏曲】

沖縄県那覇市出身、現在横浜市鶴見区在住。9歳に琉球箏曲興陽会二代目副会長儀保スミに師事。1968年琉球新報社主催古典芸能コンクール箏曲部門最高賞受賞、76年琉球箏曲興陽会（師範）免許取得。90年琉球放送創作芸術祭音楽部門佳作受賞。2010年文化庁芸術祭参加、琉球新報社主催古典芸能コンクール箏曲部門の審査員を務める。15年重要無形文化財（組踊）（総合認定）保持者、17年重要無形文化財（琉球舞踊）（総合認定）保持者、18年沖縄県指定琉球箏曲保持者、現在、川崎沖縄芸能研究会会長。琉球箏曲の魅力を追及し、保存継承に尽力するとともに沖縄芸能の普及発展に邁進している。

西川啓光 【邦楽打楽器】

東京都出身。邦楽打楽器演奏家 歌舞伎囃子小鼓演奏家（堅田流）。オーケストラアジア・ジャパン団員。西川啓光和太鼓グループ「鼓友会」主宰。パール楽器製造㈱「パール和太鼓」のアドバイザー。著作：「小鼓演奏法」（非売品）、「和太鼓をはじめよう！」第1巻～第3巻 汐文社より刊行。数多くのレコーディング・CM・テレビ・コンサート等、主に現代邦楽分野での演奏活動及び現代音楽のレコードプロデュース等を手掛けている。

野澤佐保子 【箏】

幼少より母に生田流箏曲の手ほどきを受ける。現代奏法を福永千恵子師に、古典地歌箏曲を芦垣美穂師に師事。NHK邦楽技能者育成会第41期卒業、現代邦楽研究所第4期修了。

一般社団法人京都當道会師匠資格取得。賢順記念全国箏曲コンクール第一位賢順賞受賞、東京邦楽コンクール奨励賞受賞、ビクター邦楽技能者育英賞受賞、蒲郡市文化協会奨励賞受賞、NHK邦楽オーディション合格（箏、十七絃箏）。2000年、2006年、2014年にリサイタルを行うほか、各種演奏会、演奏会企画公演など各地で行う。学校へのアウトリーチにも積極的に取り組んでいる。CD録音参加、NHKFMラジオ出演多数。「やさしい箏入門」（ドレミ楽譜出版社刊）執筆。洗足学園音楽大学講師、桐生大学附属中学校講師。NHK邦楽技能者育成会同窓会合奏団現代邦楽"考"団員、東久留米市文化協会邦楽連盟会長、蒲郡市文化協会所属。

野澤徹也【三味線】

受賞歴は東京邦楽コンクール第1位、全国邦楽コンクール優秀賞他多数。CDは『三味線独奏曲集』（TY サポート受賞作品）の他、計18枚リリース。2019年『杵屋正邦作品集』を（公財）日本伝統文化振興財団よりリリースし、令和元年度（第74回）文化庁芸術祭レコード部門優秀 賞受賞。2013年～現在放送中の『にっぽんの芸能』テーマ曲・挿入曲 の演奏を担当。今年度 の6月には演歌歌手・五木ひろしコンサート「和楽器と奏でる日本のこころ」に出演。8月にはNHK第一ラジオドラマ「料理人季蔵捕物控（西田敏行、竹下景子主演）」シリーズの三味線演奏を担当。洗足学園音楽大学講師。

長谷川慎【胡弓】

東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業、同大学院音楽教育専攻修了。幼少より生田流箏曲に親しみ箏、三絃、胡弓を学ぶ。生田流箏曲宮城社宗家直門。柳川三味線および京地歌、胡弓を中澤眞佐に師事。音楽教育学を山本文茂、佐野靖に師事。NHK邦楽オーディションに柳川三味線で合格。日本三曲協会、生田流協会、箏曲宮城会各会員。現在、静岡大学大学院教育学領域音楽教育系列教授（音楽教育学・日本音楽）。また、洗足学園音楽大学、愛知教育大学、東京藝術大学、常葉大学、長崎大学の非常勤講師として音楽科教育、日本音楽、和楽器指導にあたっている。岐阜県出身、東京都足立区在住。

松尾祐孝【作曲】

1984年東京芸術大学大学院修士課程修了。85年日仏現代音楽作曲コンクール特別賞、88年ACL（アジア作曲家連盟）青年作曲賞第1位、92年ISCM（国際現代音楽協会）世界音楽の日々ワルシャワ大会入選、その他、村松賞、別宮賞等、受賞多数。94年には、代表作〈フォンスフェール第1番～尺八と管弦楽の為に〉が東京フィル欧州楽旅で絶賛を博す。以後、邦楽器の分野にも積極的に関わっており、2014年に開催した《松尾祐孝邦楽器作品個展》は大きな反響を巻き起こした。一方で、NHK教育番組「ゆかいなコンサート」の進行役を務める等、テレビ・ラジオへの出演も数多い。その他、近年は国際交流活動にも積極的で、98年ブザンソン国際作曲コンクール審査員、《ISCM世界音楽の日々2001横浜大会》、《日本＝チェコ交流2003》等の国際音楽祭の実行委員長や、メキシコ《セルバンティノ芸術祭2005》招待作曲家、エクアドル《日本＝エクアドル交流演奏会2006》招待指揮者、《Music From Japan 2007》委嘱作曲家、ポルトガル《Musica

Viva 2010》委嘱作曲家、ウクライナ《Donbas Modern Music Art 2013》招聘指揮者、等を歴任している。現在、洗足学園音楽大学教授、日本現代音楽協会・理事・広報室長、公益財団法人日本音楽教育文化振興会・理事、日本A I 音楽学会会長、一般社団法人日本木文化学会・代表理事、等。

峯岸一水【一絃琴】

清虚洞一絃琴流祖・徳弘太舞の玄孫。幼少より曾祖母・清虚洞一絃琴宗家三代松崎一水（国選無形記録文化財保持者）より手ほどきを受ける。1988年松崎一水没。若くして四代目を継承。以後 齋藤一蓉を後見として師事。聖心女子大学卒業。NHK邦楽技能者育成会第40期首席卒業。ホーチミン市でベトナム一絃琴ダンバウをグエン・ティ・ハイ・フォンに師事。もともとは精神修養の楽器でもあった江戸期に隆盛の一絃琴音楽の伝統を次世代に継ぐべく、小学生邦楽鑑賞教室活動への協力。古典と共に新曲の演奏会・レクチャーコンサートを国内外で年数回のペースで行い、指導にも取り組んでいる。2008年11月の襲名20周年の演奏会においては皇后陛下の行啓を賜った。舞踊・演劇のコラボレーションなど音楽以外の芸術との新しい広がりをも模索している。2009年デルフィック（文化芸術オリンピック）一絃・二絃楽器部門銅賞。Asian Cultural Council より助成を受け、2010年8か月ニューヨークにおいて、2013年3か月台北において研修滞在。

森重行敏【音楽学】

1955年東京生まれ。東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。1985年開場時の国立総合児童センター(こどもの城)音楽事業部にてガムラン、邦楽、合唱等の講座コーディネーター。Pan School of Musicにてイヤートレーニング主任講師などを務める。現在、現代邦楽研究所所長。洗足学園音楽大学客員教授。桐朋学園芸術短期大学、尚美学園大学講師、東京芸術大学音楽環境創造科非常勤講師。2014～15年国立劇場公演専門委員(邦楽)。NPO法人日本ガムラン音楽振興会理事。著書は楽典ワークブック(共著)(全音楽譜)、合唱組曲白鳥の湖(編曲)(水星社)、ビジュアル版和楽器事典(汐文社)など。

山下名緒野【箏曲組歌】

幼少より母に手ほどきを受ける。昭和47年鳥居名美野師に師事。現在に至る。昭和47～53年 市村綾能師に師事。昭和53年東京藝術大学卒業。昭和55年NHK邦楽技能者育成会修了。昭和 60年文化庁国内研修員に任命される。平成19年～21年東京芸術大学非常勤講師。平成 22年より 洗足学園音楽大学現代邦楽研究所箏曲組歌講師。河東節を山彦さわ子師に師事し山彦みや子を 荻江節を荻江さわ師に師事し荻江りおを、一中節を十二世 都一中師に師事し都一恵 の名前を 許される。「邦楽百番」「芸能花舞台」等出演。日本三曲協会、山田流箏曲協会。

山口賢治【尺八】

尺八を青木鈴慕（人間国宝）、佐々木晴風、演奏法を石川憲弘に師事。NHK邦楽技能者育成会卒。現代邦楽研究所研究科卒。NHK邦楽オーディション合格。虚無僧音楽である尺八古典本曲や三曲合奏から同時代の作曲家の作品初演に至るまで、幅広く演奏活動を展

開する。NHKFM放送局やカナダラジオ局ORFで放送され、国外では文化庁国際交流基金等を通じてアメリカ、中国、オランダ、ドイツ、オーストリアで公演。また音楽づくりの手法を取り入れたワークショップの実践、制作やリーダーを務め、ISCM国際現代音楽協会イベントで邦楽器による音楽づくりワークショップを行うなど、新しい音楽教育法を研究する。CD「山口賢治 尺八の現在～革新から新たな伝統へ～」(YSEK001)、書籍「和楽器にチャレンジ ～尺八を吹いてみよう～」(汐文社)。映画『怪猫狂騒曲』(横川寛人監督)に収録、出演。現在、山口尺八演奏研究室主宰。洗足学園音楽大学講師、同大学附属研究所現代邦楽研究所主任。邦楽創造集団オーラJ団員。

山中信人【津軽三味線】

津軽三味線の伝統である津軽民謡の唄付けを重視するソロ奏者として、演奏会、学校公演、講演会、レコーディング、テレビ出演、講演、慰問などで活動中。中学卒業後15歳より津軽三味線奏者「山田千里(やまだちさと)」の内弟子として4年間修業。津軽三味線世界大会ではA級個人戦3連覇を達成し殿堂入り。また津軽民謡の伝統的な唄付けの技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で3回の優勝を獲得。海外計38の国と地域で演奏。平成29年度埼玉グローバル賞を受賞。平成30年度北本市文化奨励賞を受賞。津軽三味線山田千里流師範。洗足学園音楽大学講師。加須市観光大使。埼玉親善大使。

山部泰嗣【和太鼓】

2004年16歳にして「東京国際和太鼓コンテスト 大太鼓部門」にて史上最年少で最優秀賞を受賞し、「50年に一度の逸材」と注目される。和太鼓の古典的な三つ打ちをはじめ、ドラムの四つ打ちや海外打楽器のリズムも享受し、多彩な響きに昇華させる。活動は太鼓界に留まることなく、五木ひろしや坂本冬美など演歌勢との舞台競演、きゃりーぱみゅぱみゅらJ-POP、ロック界ではSPYAIRとのセッションまで広げ様々なエンターテインメントとの競演も精力的に行っている。特に、世界30ヶ国500万人の観客動員したFuerzabrutaの日本公演「WA!」においては、約400回というロングラン公演で観客を魅了する。絶対音感ならぬ「絶対リズム感」と、抜群に早いバチ捌き、そして圧倒的存在感で和太鼓界の牽引者の一人として称されている。2019年3月にリリースされたアルバム「TAISHI」に収録されている楽曲の様に、太鼓を始めとする邦楽曲の作曲も手がけ、和太鼓の新たな可能性と邦楽の素晴らしさを作品に残すと共に舞台演出も行う、日本の誇る太鼓奏者であり創作者の一人である。倉敷天領太鼓 代表、日本太鼓財団 岡山県支部長、公益財団法人 日本太鼓財団 技術委員、洗足学園音楽大学講師。

山本普乃【三味線】

細棹三味線を主とし、お座敷唄や長唄等の古典曲から、現代・オリジナル曲等、ジャンルにとらわれない幅広い演奏と作曲活動を行い、独自のスタイルで三味線音楽を発信している。現代邦楽研究所第一期生。ビクター邦楽技能育英賞を受賞。NHK邦楽オーディション合格。長谷検校記念全国邦楽コンクール優秀賞。2009年 オリジナル曲でのリサイタル「山本普乃 三味線コンサート2009～春の祭典」狛江エコルマホールにて開催。2010年～小唄、端唄、俗曲、民謡等のお座敷唄のみでプログラムした公演「お座敷唄ゆきの会」

毎年定期開催。2019年には第10回記念公演をヤマハ銀座スタジオにて開催。長唄を柱とし、小唄、端唄、俗曲、民謡などを織り交ぜた構成曲はオリジナルな古典の演出として好評を得ている。2018年 オリジナル曲にて「三味線山本ゆきのリサイタル」をヤマハホールにて開催。2019年第32回東京国際映画祭のオープニングアクトを「山本ゆきのwithねのいる」として務める。音緒乃会主宰。女三味線弾き「ねのいる」代表。狛江市三曲協会会員。

吉原佐知子【箏】

6歳より母、櫻木一公より手ほどきをうけ、古典、宮城曲を大浦美紀子、現代曲を西潟昭子、福永千恵子各氏に師事。2002年、東京藝術大学邦楽科生田流箏曲専攻卒業。NHK邦楽技能者育成会第43期卒業。現代邦楽研究所第1期卒業。同所にてビクター邦楽技能者育英賞受賞。全国高校生邦楽コンクール準優賞。賢順記念全国箏曲コンクール銅賞、奨励賞受賞。NHKオーディション合格。2010年 旧東京音楽学校奏楽堂にて第1回リサイタル開催。2015年 7月、フランス サンリキエ音楽祭にて招待演奏。11月「吉原佐知子箏リサイタル〜箏独奏の系譜〜」文化庁芸術祭参加公演開催。主な著書「和楽器にチャレンジ 箏」（汐文社出版）執筆担当。「音楽づくりのアイディアII」（マザーアース出版）。主なCD 箏とヴァイオリンによる「波間のきらめき」(ARCH-10802)「日本のメロディ、サクラから春の海まで」(ARCH-11001)。箏とヴァイオリン、ハープによる「日本の調べ」(ARCH-11401)「世界のメロディ、日本の歌」(ARCH-11402)。他研究論文「音楽づくりにみる箏の教材化の可能性について-邦楽ワークショップ授業の分析を通して-」2013年、洗足論叢第42号現在、洗足学園音楽大学現代邦楽コース非常勤講師。熊本大学、弘前大学非常勤講師。現代邦楽研究所講師。東京都市大学等々力中学高等学校講師。国内、海外でコンサート、邦楽指導、邦楽ワークショップを展開。桜葉美会大師範。荒川三曲協会理事。日本三曲協会、生田流協会、森の会、あいおいの会、純正律音楽研究会、会員。「洗足学園音楽大学 伝統デジタルライブラリー 箏」出演。

3 研究活動

■研究の概要

現代邦楽研究所における研究活動の大きな柱は、演奏活動と教育活動の2本にある。演奏会活動については、作曲家への邦楽器による新たな作品の委嘱や初演を手がけ、優れた現代邦楽作品の演奏紹介を行う他、古典についても現代に生きる音楽としての視点から演奏や研究活動を行っている。教育活動については専門性を高める教育と同時に、幅広く日本の伝統音楽を体験してもらう方法論として、音楽づくりの手法を取り入れた教育法の研究と実践を進めている。

■現代邦楽研究所 協力演奏会、イベント

現代邦楽研究所の各公開講座の研究生による成果発表の場となる修了コンサートについては、新型コロナウイルス感染症による長期のまん延防止等重点措置の影響により第27期も開催できなかった。当研究所主催による演奏会は開催されなかったが、後援や協力した演奏会やイベントについて下記に示す。

・第4回 現代三曲アンサンブル

～伝統的三曲合奏（箏・三絃・尺八）の形式による現代の作品を中心に～

【日時】2021年04月29日（木） 14：00 開演

【会場】トーキョーコンサーツ・ラボ

【主催】現代三曲アンサンブル

【後援】現代邦楽研究所

公益財団法人日本文化藝術財団

公益財団法人 日本伝統文化振興財団

【プログラム】

池辺晋一郎 作曲「たどるかたち」

菅野由弘 作曲「湖面の妖像」

細川俊夫 作曲「断章Ⅰ」

篠原眞 作曲「求道A」

西村朗 作曲「時の蜜」

一柳慧 作曲「花の変容」

【出演者】

西潟昭子（三絃） 野澤徹也（三絃）

吉原佐知子（箏） 神 令（尺八）

森重行敏（解説・司会）

伝統的三曲合奏（箏・三絃・尺八）の形式による現代の作品を中心に
The 4th Concert Modern SANKYOKU Ensemble in Concerts Lab.

1980年、西潟昭子、福永千恵子、遠藤一己らと結成され、国の内外（特にヨーロッパ各地）で活発に演奏活動し、1986年、第1回東京公演から1988年第3回東京公演までを開催してきました。今、「現代三曲アンサンブル」が40年を経て復活します。その活動の中から生まれた新しい作品の数々は、邦楽界の貴重な財産となり現在も脈々と継承されています。日本の伝統楽器（箏、三絃、尺八）による現代作品の魅力をもっと多くの方に発信すべく、このコンサートは再び企画されました。世代を超えた演奏家の創り出す新たな音楽世界は、見果てぬ未来へと湧き出し、新たな地平を見出すことでしょう。（西潟昭子）

日時 2021年 4月29日（木・祝）
開演 14:00 / 開場 13:00
会場 トーキョーコンサーツ・ラボ [早稲田]
入場料 ¥4,000 (50席限定 当日券なし)

出演 Akiko Nishigata 西潟昭子 [三絃] Tetsuya Noyama 野澤徹也 [三絃]
Sachiko Yoshikawa 吉原佐知子 [箏] Reiji In 神 令 [尺八]
解説・司会 Yukiaki Horiuchi 森重行敏

PROGRAM

- 1 池辺晋一郎 作曲「たどるかたち」(1997年)
- 2 菅野由弘 作曲「湖面の妖像」(1998年)
- 3 細川俊夫 作曲「断章Ⅰ」(1988年)
- 4 篠原眞 作曲「求道A」(1974年)
- 5 西村朗 作曲「時の蜜」(1998年)
- 6 一柳慧 作曲「花の変容」(1988年)

■後援：公益財団法人日本文化振興財団 / (公財) 日本文化藝術財団
洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所
■協力：TAフォト&サウンドオフィス

5月6日(木)より無料配信を、下記URL及び右記QRコードからご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/channel/UC5N2kx952mvxJ485tsSIH1Q>

■入場申込み 各出演者
■問合せ (株)TAフォト&サウンドオフィス TEL 03-3953-0431 FAX 03-3953-0443 MAIL taoffice621@gmail.com
■現代三曲アンサンブル ホームページ <http://genhoan.moon.bindcloud.jp>

・川崎ものづくりフェアin等々力 イベント演奏

【日時】2021年05月16日（日） 14：00 開演

【会場】等々力陸上競技場 場外イベント広場

【主催】川崎市 【共催】川崎市経済労働局

【協力】現代邦楽研究所

川崎ものづくりフェア実行委員会

川崎北工業会 川崎中原工場協会

川崎ベイエリアものづくり連合会

下野毛工業協同組合 高津工友会

チーム等々力 ヒロキ産業株式会社

ねこのしっぽ 早川製作所

AireedX

【プログラム】

坂本九ソングメドレー 他

【出演者】

洗足学園音楽大学現代邦楽コース



2021ものづくりフェアメインコンテンツ案

【ご依頼内容】

下記ブースにて、洗足学園音楽大学現代邦楽の先生・生徒の代表者にメタル尺八を使用し、坂本九さんの楽曲（上を向いて歩こう・見上げてごらん夜の星を・幸せなら手をたたこうなど）を演奏。イベント開催中全3回 5～10分間

技術展示ブース

【有限会社 早川製作所】神奈川県川崎市高津区久地3-8-31
昭和37年12月（南）早川製作所を設立し、金型、プレス加工を主に電機部品、カメラ部品の製作を行っていましたが、現在はマシンセンターによる部品加工を主に行っています。

①メタル尺八 展示＆演奏会



②川崎フロンティアレモニュメント展示



・第22回 一穂会地唄箏曲演奏会

～時は蒔かれ 育まれて今～

【日時】2021年06月26日(土) 12:00 開演

【会場】国立劇場 小劇場

【主催】一穂会

【協力】現代邦楽研究所

【プログラム】

三味線組歌「下総」他

【出演者】

一穂会会員

現代邦楽研究所研究生有志

名古屋音楽大学 他



・洗足学園音楽大学 邦楽演奏会「和のいろは」

【日時】2021年7月3日(土) 14:00 開演

【会場】シルバーマウンテン1F

【主催】洗足学園音楽大学・大学院

【協力】現代邦楽研究所

【プログラム】

「砧三章」沢井忠夫 作曲

「笛、箏、三絃のための三重奏曲」杵屋正邦 作曲

「絃魂」和田薫 作曲

「生きていてよかった」長澤勝俊 作曲

「福島湯幻想曲」玉木宏樹 作曲

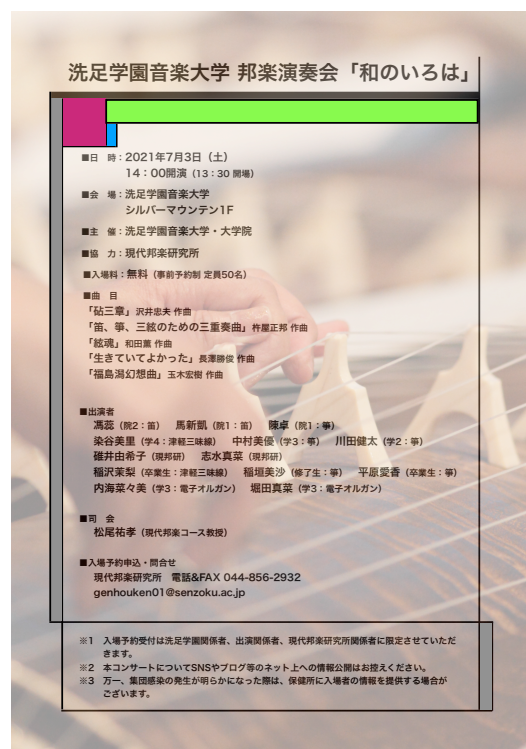
【出演者】

現代邦楽コース大学院、学部生、卒業生

電子オルガンコース学部生

現代邦楽研究所総合コース研究生

松尾祐孝(教授：司会)



・洗足学園音楽大学 冬の邦楽演奏会

【日時】2021年12月11日(土) 14:00 開演

【会場】シルバーマウンテンBF

【主催】洗足学園音楽大学・大学院

【協力】現代邦楽研究所

【プログラム】

「六段の調」箏曲古典

「三つのパラフレーズ」沢井忠夫 作曲

「津軽じょんから節、津軽よされ節」

日本民謡

「郷音」水川寿也 作曲

「奏鳴」杵屋正邦 作曲

【出演者】

現代邦楽コース大学院、学部生、卒業生

現代邦楽研究所総合コース研究生

富田慎平（講師：打ち物）

柿崎竹美（講師：唄、踊り）

松尾祐孝(教授：司会)

洗足学園音楽大学 冬の邦楽演奏会

■日時：2021年12月11日(土)
14:00開演(13:30開場)

■会場：洗足学園音楽大学
シルバーマウンテンBF

■主催：洗足学園音楽大学・大学院

■協力：現代邦楽研究所

■入場料：無料(事前予約制 定員50名)

■曲目
「六段の調」箏曲古典
「三つのパラフレーズ」沢井忠夫 作曲
「津軽じょんから節、津軽よされ節」日本民謡
「郷音」水川寿也 作曲
「奏鳴」杵屋正邦 作曲

■出演者
高森(院2:笛) 馬新凱(院1:笛) 陳卓(院1:箏)
染谷美里(学4:津軽三味線) 中村美優(学3:箏) 川田健太(学2:箏)
藤井由希子(現研:箏) 志水真菜(現研:箏)
平原愛香(卒業生:箏) 富田慎平(講師:打ち物) 柿崎竹美(講師:唄、踊り)

■司会
松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

■入場予約申込・問合せ
現代邦楽研究所 電話&FAX 044-856-2932
genhouken01@senzoku.ac.jp

※1 入場予約受付は洗足学園関係者、出演関係者、現代邦楽研究所関係者に限定させていただきます。
※2 本コンサートについてSNSやブログ等のネット上への事前情報の公開はお控えください。
※3 万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

・怪猫狂騒曲映画祭

【日時】2021年12月24日(金) 18:00 開演

【会場】船堀タワーホール・大

【主催】スリーシェルズ

【協力】現代邦楽研究所

【プログラム】

「大仏廻国」「ネズラ1964」「怪猫狂騒曲」

【出演者】

指揮：鈴木智士

演奏：オーケストラ・トリプティーク 他



『大仏廻国』『ネズラ1964』『怪猫狂騒曲』の音楽を映画と一緒に楽しむ映画祭

12/24(金)
17:30開場 18:00開演

会場：タワーホール船堀 大ホール (船堀駅から徒歩10分)
チケット：3000円 (https://www.s3s.jp/ship堀/2021/12/24/11)
主催：スリーシェルズ (https://s3s.jp/ship堀/2021/12/24/11)
問い合わせ：株式会社スリーワイ 3l@slw.jp

怪猫狂騒曲
映画祭

AFF
AFS For the Arts

・ショッピングモール グランツリー武蔵小杉 新春イベント ～水と音楽と、書道のコラボレーション～

【日時】2022年1月3日(月)

1st...11:00 2nd...11:00

【会場】グランツリー武蔵小杉 AQUA DROP

【主催】グランツリー武蔵小杉

【協力】現代邦楽研究所

【プログラム】

「春の海」

「明日があるさ～上を向いて歩こうメドレー」他

【出演者】

演奏：山口賢治（尺八） 稲沢茉莉（津軽三味線）

谷富愛美（箏） 平原愛香（十七絃）

書道：栗津紅花（デザイン書道家）



・洗足学園音楽大学 邦楽第12回定期演奏会 World Wood Day 2022 連携イベント

【日時】2021年3月21日(日) 14:30 開演

【会場】洗足学園前田ホール

【主催】洗足学園音楽大学・大学院

【協力】現代邦楽研究所

【プログラム】

「LITURGIA 礼拝 -篠笛と管弦楽の為に」

ディエゴ・ルズリアーガ 作曲

「調・下り葉」根笹派尺八古典本曲

「津軽三下り」「津軽じょんから節」

津軽三味線独奏

「ゆき」古典地唄

「呼笛悠遊」松尾祐孝 作曲(新作初演)

「深みどり」石垣征山 作曲

洗足学園音楽大学邦楽第12回定期演奏会

■日 時: 2022年2月20日(日) 17:00開演 (16:30 開場)	QRコード
■会 場: 洗足学園前田ホール	
■主 催: 洗足学園音楽大学・大学院	QRコード
■協 力: 現代邦楽研究所	
■入場料: 無料 (事前予約制 定員300名)	QRコード
■曲 目 (※当初告知していたプログラムから変更になりました。)	
「LITURGIA 礼拝 -篠笛と管弦楽の為に」 ディエゴ・ルズリアーガ 作曲	
「調・下り葉」 根笹派尺八古典本曲	
「津軽三下り」「津軽じょんから節」 津軽三味線独奏	
「ゆき」 古典地唄	
「呼笛悠遊」 松尾祐孝 作曲 (新作初演)	
「深みどり」 石垣征山 作曲	
■出演者	
高松 (院2: 笛) 馬新凱 (院1: 笛) 陳卓 (院1: 箏)	
染谷美里 (学4: 津軽三味線) 中村美優 (学3: 箏) 川田健太 (学2: 十七絃)	
産形典子 (卒業生: 箏) 平原愛香 (卒業生: 十七絃)	
山口賢治 (講師: 尺八) 吉原佐知子 (講師: 三絃/箏) 野澤佐保子 (講師: 三絃/箏)	
富田真平 (講師: 打楽器) 長谷川優 (講師: 笛)	
堀井由希子 (現研研: 箏) 大澤雅也 (助奏: 箏)	
中田美紅 (学3: 打楽器) 内海菜々美 (学3: 箏/ハルカ) 窪山花 (学2: 箏/ハルカ)	
■司 会: 松尾祐孝 (現代邦楽コース教授: 指揮)	
■問合せ 現代邦楽研究所 電話&FAX 044-856-2932 genhouken01@senzoku.ac.jp	QRコード
■当日無料配布 https://t.me/1118/9272	
■当日無料配布 https://youtu.be/SIQFTp0-eMw	会場入場予約
※1 入場予約受付は洗足学園関係者、出演関係者、現代邦楽研究所関係者に限定させていただきます。	
※2 本コンサートについてSNSやブログ等のネット上への事前情報公開はお控えください。	
※3 万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。	

[illegible]

・映画「怪猫狂騒曲」

【キャスト】

横川寛人（監督・脚本・製作）
 渡辺宙明（音楽）
 吉原一憲（編曲）
 佐藤大介（撮影監督）
 西耕一（音楽プロデューサー）
 つるの剛士（ストーリーテラー） 他

【演奏】

オーケストラ・トリプティーク
 MIQ（主題歌） 山口賢治（尺八）
 安田崇（ミュージックソー）
 篠田浩美（打楽器） 他

【協力】現代邦楽研究所 他

【公式サイト】

<http://3yfilm.co.jp/kaibyorhapsody>



■作品初演

2021年3月20日(日)邦楽第12回定期演奏会

「呼笛悠遊」松尾祐孝 作曲

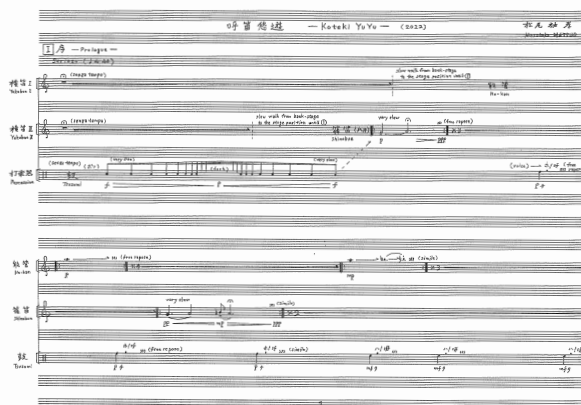
笛I：馮蕊（院2年）

笛II：馬新凱（院1年）

打楽器：富田慎平（講師）

曲は、鼓による”落とし”のリズムに始まり横笛奏者が能舞台を静々と進む役者のように舞台上を移動しながらやがて左右に離れた定位置に至る＜序＞に始まり、五音連打によるモチーフが団扇太鼓を伴いつつ次第に増殖していきながら次第にリズム感が明確になっていく＜漸増＞を経て、明確な

4拍子が確立されて進行する＜祭り幻想＞が輝きを放った後、締太鼓による間奏＜轟＞を経て定常拍節感が無い音楽に回帰する。最後は二人の横笛が呼び交わしがやがて天空の彼方に消えていくような＜呼応＞に収束していく。〔曲目解説抜粋〕



■情報発信

・邦楽ワークショップブログ

邦楽器を用いた、或は日本の伝統音楽の理論や方法論を活用した音楽づくりワークショップに関するブログを開設し、情報発信を行っている。写真やダイジェスト動画を付けて、ワークショップ活動の報告や実施プログラムを公開している。ワークショップ教材としての活用や新たな教材資料作成のヒントとされることを念頭に置いている。



<https://blog.senzoku.ac.jp/hougaku/>

・現代邦楽研究所ブログ

現代邦楽研究所にて開講された授業をダイジェスト動画付きで紹介し、また関連する演奏会情報や卒業生の活躍などについて掲載している。さらに過去の演奏記録のアーカイブ134曲（2022年3月31日時点）を公開しており、他にも箏曲組歌演奏会や尺八古典本曲の参考音源が現代邦楽研究所YouTubeチャンネルにアップされている。



<https://blog.senzoku.ac.jp/genhouken/>

4 社会貢献・地域貢献活動

■現代邦楽研究所公開講座

誰でも日本の伝統音楽について学習できる公開講座を設定。第27期は下記の8講座（ワンテーマ講座7講座、総合コース）を開講した。

A.箏合奏研究講座 12:30～14:30	6月19日	7月17日	7月31日	9月18日	10月16日	11月20日	3月12日	3月26日
担当	石垣清美 先生		石川憲弘 先生		高橋久美子 先生			
曲目	夢万葉/石垣征山		秋のロマンス/神坂真理		秋風の曲主題による箏四重奏曲/高橋久美子			
B.箏曲組歌研究講座 12:30～14:30 担当: 鳥居名美野 先生	6月5日	10月2日	10月30日	12月4日	1月8日	3月5日		
C.十七絃奏法研究講座 10:00～12:00 担当: 石垣清美 先生	6月19日	7月17日	10月2日	10月30日	11月20日	12月4日	1月29日	3月26日
D.三味線組歌研究講座 15:00～17:00 担当: 芦垣美穂 先生	6月5日	7月31日	10月30日	11月27日	3月12日	3月26日		
G.尺八古典本曲研究講座 15:00～17:00	6月26日	7月17日	9月4日	9月25日	10月9日	11月20日		
担当	神令 先生		青木鈴慕 先生		山口賢治 先生			
H.楽しい箏合奏講座 12:30～14:30 担当: 吉原佐知子 先生	5月29日	6月12日	7月3日	9月4日	10月9日	11月6日		
I.楽しい鼓講座 15:00～17:00 担当: 西川啓光 先生	6月12日	7月10日	8月7日	9月11日	10月16日	11月6日	12月11日	1月8日

■第27期現代邦楽研究所総合コース研究生

■GHコース学生(邦楽古典作品研究 1,2／邦楽合奏演習 1～4)

■大学院器楽専攻和楽器大学院生(プロフェッショナル特殊研究1,1/アンサンブル研究 1,2)

日程	講義13:00～14:30 C404教室	担当講師	アンサンブル実習 15:00～17:00 実技C501教室／講義C404教室	担当講師
4月10日	日本音楽史概論1 古代芸能の世界	森重行敏	合奏実習のための準備講義1 五線譜と邦楽の諸問題	森重行敏
4月17日	日本音楽史概論2 中世芸能の世界	森重行敏	合奏実習のための準備講義2 日本の音階、音律をめぐる諸問題	森重行敏
4月24日	日本音楽史概論3 近世芸能の世界	森重行敏	合奏曲A	吉原佐知子
5月1日	日本音楽史概論4 明治以降の芸能と近代化をめぐる	森重行敏	合奏曲A	石高万紀子
5月8日	声明	末廣正栄	合奏曲A	富田慎平
5月15日	謡曲	鶴澤光	合奏曲B	山中信人
5月22日	義太夫	鶴澤三寿々	合奏曲B	富田慎平
5月29日	箏曲組歌	山下名緒野	合奏曲B	吉原佐知子
6月5日	生田流の箏曲	野澤佐保子	「和のいろは」演奏曲	野澤佐保子
6月12日	地唄	長谷川慎	「和のいろは」演奏曲	松尾祐孝
6月19日	雅楽	高原聰子	「和のいろは」演奏曲	山口賢治
6月26日	山田流の箏曲	田中奈央	「和のいろは」演奏曲	松尾祐孝
7月3日	演奏会「和のいろは」 14:00 開演 シルバーマウンテン			
7月10日	琉球の音楽	名嘉ヨシ子	邦楽ソルフェージュ1	森重行敏
7月17日	常磐津	常磐津紫緒	邦楽ソルフェージュ2	森重行敏
9月4日	打ち物	富田慎平	合奏曲C	石高万紀子
9月11日	民謡	上原潤之助	合奏曲C	富田慎平
9月18日	三味線組歌	芦垣美穂	合奏曲C	野澤徹也
9月25日	琴古流の尺八	青木鈴慕	「ともしび三章」長澤勝俊 作曲	野澤徹也
10月2日	お座敷の音楽	山本普乃	「ともしび三章」長澤勝俊 作曲	野澤佐保子
10月9日	和太鼓	山部泰嗣	「ともしび三章」長澤勝俊 作曲	野澤佐保子
10月16日	横笛	石高万紀子	「ともしび三章」長澤勝俊 作曲	野澤徹也
10月23日	都山流の尺八	坂田梁山	「ともしび三章」長澤勝俊 作曲	山中信人
10月30日	津軽三味線	山中信人	「奏鳴」杵屋正邦 作曲	山中信人
11月6日	琵琶	熊田かほり	「奏鳴」杵屋正邦 作曲	吉原佐知子
11月13日	清元	清元栄吉	「奏鳴」杵屋正邦 作曲	山口賢治
11月20日	一絃琴	峯岸一水	「奏鳴」杵屋正邦 作曲	松尾祐孝
11月27日	邦楽ミュージカル 出演者以外は鑑賞(11月28日も公演日)			
12月4日	詩吟	河野正明	「邦楽 冬の演奏会」通しリハーサル	松尾祐孝
12月11日	「邦楽 冬の演奏会」 14:00 開演 シルバーマウンテン			
12月18日	胡弓	長谷川慎	合奏研究まとめ・五線譜に書けるものと書けないもの	森重行敏
1月8日	まとめ・楽器分類学から見た日本の楽器	森重行敏	邦楽奏者のための楽曲分析入門	佐藤昌弘

■学校公演

東久留米市立第一小学校

【日時】 2021年12月18日(金)

【出演】

野澤徹也(講師) 野澤佐保子(講師)

現代邦楽コース学生、卒業生 他

【プログラム】

「さくら変奏曲」宮城道雄 作曲

「炎」(鬼滅の刃より) 他



■講師派遣事業

NPO法人かわさき市民アカデミー市民講座

NPO法人かわさき市民アカデミー主催による市民講座「伝統音楽復活への道を探る」
 「日本音楽の再生を目指して -邦楽と現代を考える」(会場：大山街道ふるさと館)を
 担当した。監修、講師は森重行敏 現代邦楽研究所所長。

講座 5	伝統芸能復活への道を探る			
	【定 員】60名 【受講料】2年会員13,640円 1年会員15,070円 聴講生19,360円 日本の伝統芸能 【時 間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)			
概要	コロナ以後の伝統芸能は復活するのか。この問題を考えるためにも、私たちは伝統とは何かを改めて見据える必要があります。伝統芸能や日本音楽について、新しい観点から見つめ直します。三味線グループ、白拍子歌謡、地唄舞のゲスト演奏者も迎えて、実践と理論的背景の両面から伝統芸能を探ります。			
回	月/日(曜)	会 場	学 習 内 容	講師名(敬称略)
1	4/5(月)	大山街道ふるさと館 イベントホール	今、伝統芸能を考える～伝統と改革の間をめぐって	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重 行敏
2	4/12(月)	産業振興会館 ホール	三味線音楽の楽しみ 【ゲスト】「ねのいろ」山本ゆきの ほか、女性奏者グループ *1	
3	5/3(月祝)	大山街道ふるさと館 イベントホール	古代芸能の宇宙～陰陽五行の思想を知る	
4	6/7(月)		中世芸能の時代背景～武家文化と「わび、さび」の発見	
5	6/21(月)		近世芸能のダイナミクス～庶民文化のエネルギー	
6	6/28(月)	産業振興会館 ホール	地唄舞の世界 【ゲスト】花崎しの(舞)、富志乃清恵(地唄) *2	
7	7/5(月)	大山街道ふるさと館 イベントホール	近代日本と芸能の関わり～伊沢修二の残したものの	
8	7/12(月)		声明と白拍子を知る 【ゲスト】桜井真樹子(声明、白拍子歌謡研究)	
9	8/2(月)		現代における伝統芸能～コロナ以後の芸能を考える	
10	8/30(月)		アジアの中の日本～外側から見た日本の芸能と音楽	
11	9/6(月)		日本音楽と西洋音楽～日本音楽は五線譜に書けるのか	
12	9/13(月)		伝統芸能の問題点を総括する	
連絡事項	*1と*2の回は演奏家の方を招いて演奏会を予定しております。この日はこの講座の受講生以外の方も受講できる日です。参加費として各回1,000円を頂きます。各回定員20名。当日先着順で受付けます。但し、状況によっては公開演奏会ができなくなる場合もございますので、必ずアカデミー事務局（044-733-5590）にお問合せ下さい。			

講座 5	日本音楽の再生を目指してー邦楽と現代を考える			
	【定員】40名 【受講料】2年会員13,640円 1年会員15,070円 聴講生19,360円 日本の伝統芸能 【時間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)			
概要	コロナに傷めつけられた邦楽界は立ち直れるのか。この難問に特効薬はなさそうですが、もう一度原点に立ち帰ることから見えてくるものを模索します。今回は現代邦楽のたどった道筋を探るとともに、新たな観点から楽器の魅力を見直します。			
回	月/日(曜)	会 場	学 習 内 容	講師名(敬称略)
1	9/27(月)	大山街道 ふるさと館	邦楽にとっての現代とは?	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重 行敏
2	10/11(月)		現代邦楽の軌跡(その1)宮城道雄と中能島欣一	
3	10/25(月)		現代邦楽の軌跡(その2)邦楽四人の会と日本音楽集団	
4	11/8(月)		現代邦楽の軌跡(その3)NHK育成会の残したものの	
5	11/15(月)		琵琶・・・古くて新しい語りの伝統(ゲスト 久保田晶子)	
6	12/6(月)		日本の声を探る・・・日本人の声は変わったのか?	
7	12/20(月)		国立劇場を考える・・・芸能と国家の関係とは?	
8	1/17(月)		邦楽と新書・・・寿ぎの曲の数々	
9	1/31(月)		一絃琴・・・究極の弦楽器を知る(ゲスト 峯岸一水)	
10	2/14(月)		月琴の残影・・・易しい楽器の系譜を振り返る	
11	2/28(月)		西と東の出会い・・・和洋折衷文化の興亡	
12	3/7(月)		邦楽は生き延びるか・・・戻らない旅へ	

5 所蔵物

・楽器

大学授業および現代邦楽研究所講習などで活用するための楽器として箏(十三絃/十七絃)、三味線、尺八、笛、邦楽打楽器などを備品として保管管理。

・楽譜

主に現代邦楽作品の五線譜楽譜を中心に約300曲を保有。

・CD・DVD

研究用に購入もしくは寄贈されたCD、DVDなど約200点を保有。その他、過去の演奏会や講習の記録ビデオや録音音源を保有。

6 現代邦楽研究所事務局

〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本2-3-1

洗足学園音楽大学内アンサンブルシティ5階 C503

電話&FAX：044-856-2932

メール：genhouken01@senzoku.ac.jp

HP：<https://www.senzoku.ac.jp/music/laboratory/traditional/>

